

TOPICS

「靴のヒラキ 姫路店」オープン

当社の強みが発揮できる環境が整い、自社企画の靴の高い収益力をベースとした事業モデルが確立できてきたことから10月21日総合店事業で11年ぶりとなる姫路店をオープンいたしました。売り場面積830坪 駐車台数200台
兵庫県姫路店市東町庄字宮ノ浦203-1



“あったかインナー市場”に参入

高機能繊維の“warm fresh”と“TENCEL®”を使用し心地よい暖かさと快適な肌触りを実現した快温発熱インナー全10アイテムを10月1日より680円(税込み714円)にて発売いたしました。



商品のご案内

平成21年4月～平成21年9月に発売したおすすめの商品の一部をご紹介します。



スニーカー
¥476(税込み¥499)
ちよい履き系スニーカー

■親子シリーズ



親子サンダル
¥476(税込み¥499)
大活躍の
ベタンコサンダル

親子スニーカー
¥476(税込み¥499)
エナメル素材の
ハイカットスニーカー

レディースカジュアル
¥980(税込み¥1,029)
フェミニン感あふれる
バレエシューズ

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
(電話照会先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
電話0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

株主優待特典のお知らせ

毎年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、当社商品券(2,000円相当)を贈呈いたします。
※当社商品券は当社通信販売および店舗(総合店・専門店)にて使用できます。
※贈呈時期は毎年8月中旬頃を予定しております。

ヒラキホームページ

ヒラキのホームページでは、タイムリーなプレスリリースやIRニュースのほか、会社情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を定期的に更新、掲載しております。また、HIRAKI Shoppingサイトへもリンクしておりますので、どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



<http://company.hiraki.co.jp/>

ヒラキ株式会社

[本誌に関するお問い合わせ先:経営戦略室]
〒654-0035 神戸市須磨区中島町3丁目2番6号
TEL:078-731-2322 FAX:078-731-2192

「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。

そうだ!
ヒラキがあった!



親子ブーツ ¥743(税込み¥780)

第33期
中間期

HIRAKI COMPANY REPORT

株主通信

平成21年4月1日～平成21年9月30日

ヒラキ株式会社

株主の皆様へ

Message from the President

ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。
ここに当社第33期 第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

平成21年12月

代表取締役 社長執行役員
向畑 達也



事業の概況

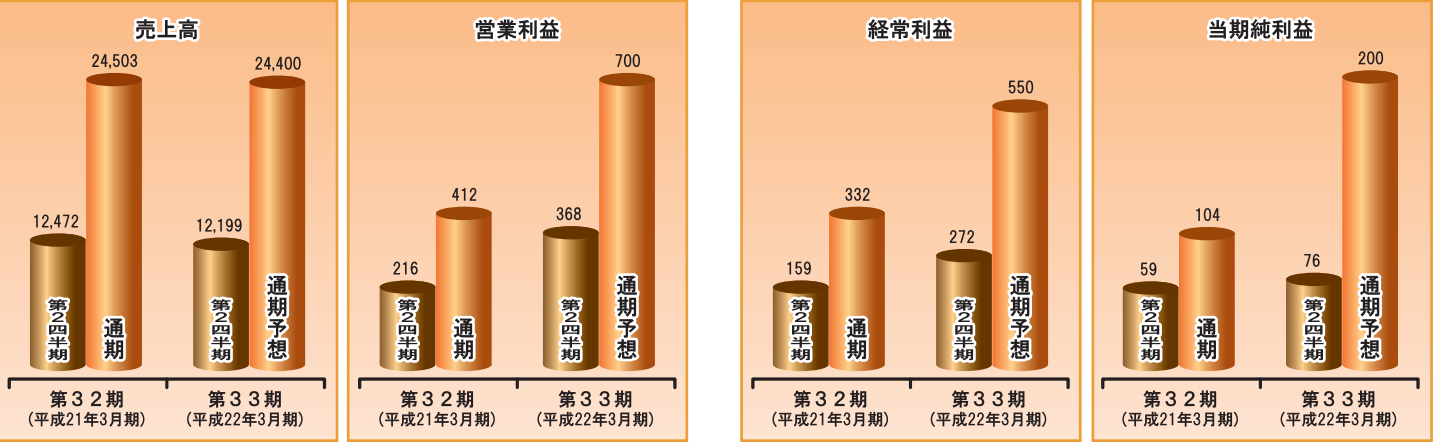
Business Result

「もの作り」の強化を図り、ベストワン、オンリーワン商品による差別化を推し進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）における当社グループは、景況感の悪化等により消費者の生活防衛意識が強く依然として厳しい経営環境の下、価格優位性を推し進めるとともに、当社の強みである「もの作り」の強化を図り、ベストワン、オンリーワン商品による差別化を推し進めてまいりました。低価格な生活必需品への消費者ニーズがさらに高まるものと判断し、第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）には「新・生活応援価格商品」として、キッズ向け180円生活応援価格商品を投入し、11万7千足を販売いたしました。また第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）には499円ハイクットスニーカー、780円カジュアルブーツなど競争力のある商品を投入してまいりました。しかし、価格競争の激化、天候不順等により売上の獲得に苦戦し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同四半期と比べ2.2%減少の121億9千9百万円となりました。

利益面につきましては、体質改善のために在庫処理に注力した一方で通信販売事業において出荷効率を高めたことにより厳しい経済環境の中でも利益を確保することができました。また、総合店事業では新規出店のための先行投資が発生しておりますが、それ以上に全社的な営業努力を行った結果、当第2四半期連結累計期間における営業利益は前年同四半期と比べ70.0%増加の3億6千8百万円、経常利益は前年同四半期と比べ71.2%増加の2億7千2百万円、四半期純利益は前年同四半期と比べ29.0%増加の7千6百万円となりました。

連結経営成績（累計）（百万円）



事業のセグメント別概況

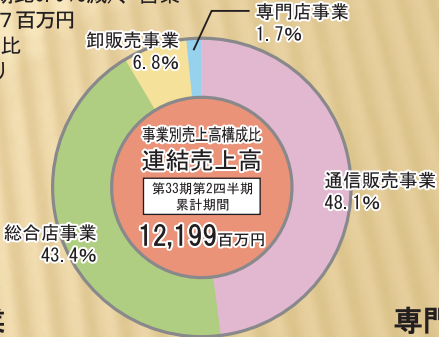
Segment Result

通信販売事業

商品力の強化により受注単価の
下げ止まりは見られるものの、大型
連休等の影響により受注件数が減
少しました。しかし、カタログの見
直し、出荷業務の一層の効率化を
図る等、徹底した販管費の効率改善
を図り、厳しい環境下においても収益
が確保できる体制作りを進めました。
この結果、売上高は58億6千3百万
円（前年同四半期比0.9%減）、営業
利益は6億6千7百万円
（前年同四半期比
27.6%増）となり
ました。

総合店事業

ディスカウント形態の価格競争の
激化によりお買い上げ単価は減少す
るものの効果的なチラシ投入、販促
施策により客数の増加基調が続いて
おります。この結果、売上高は52億
9千1百万円（前年同四半期比1.1
%減）、営業利益は5千4百万円
（前年同四半期比1.8%減）となり
ました。



卸販売事業

厳しい経済環境およびインフル
エンザの影響により売上の確保に
苦戦しました。また、在庫圧縮を
加速化したことにより粗利益率が
低下しました。この結果、売上高
は8億3千3百万円（前年同四半
期比22.1%減）、営業損失は1千
5百万円（前年同四半期は営業利
益2千6百万円）となりました。

専門店事業

商品構成の見直しにより売上は
順調に確保できましたが、在庫圧
縮を推し進めたため粗利益率は低
下いたしました。この結果、売上
高は2億1千万円（前年同四半期
比56.4%増）、営業損失は8千5
百万円（前年同四半期は営業損失
1億1千4百万円）となりました。

当株主通信は、コスト削減の一環として、社内製作（イラストレーターソフト使用）しております。